

生活交通確保維持改善計画について

資料2 生活交通確保維持改善計画の補足

1. 概要

この計画は、生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段として、地域公共交通の確保・維持・改善に関する事業を指し、国がその事業に対して支援をするものである。

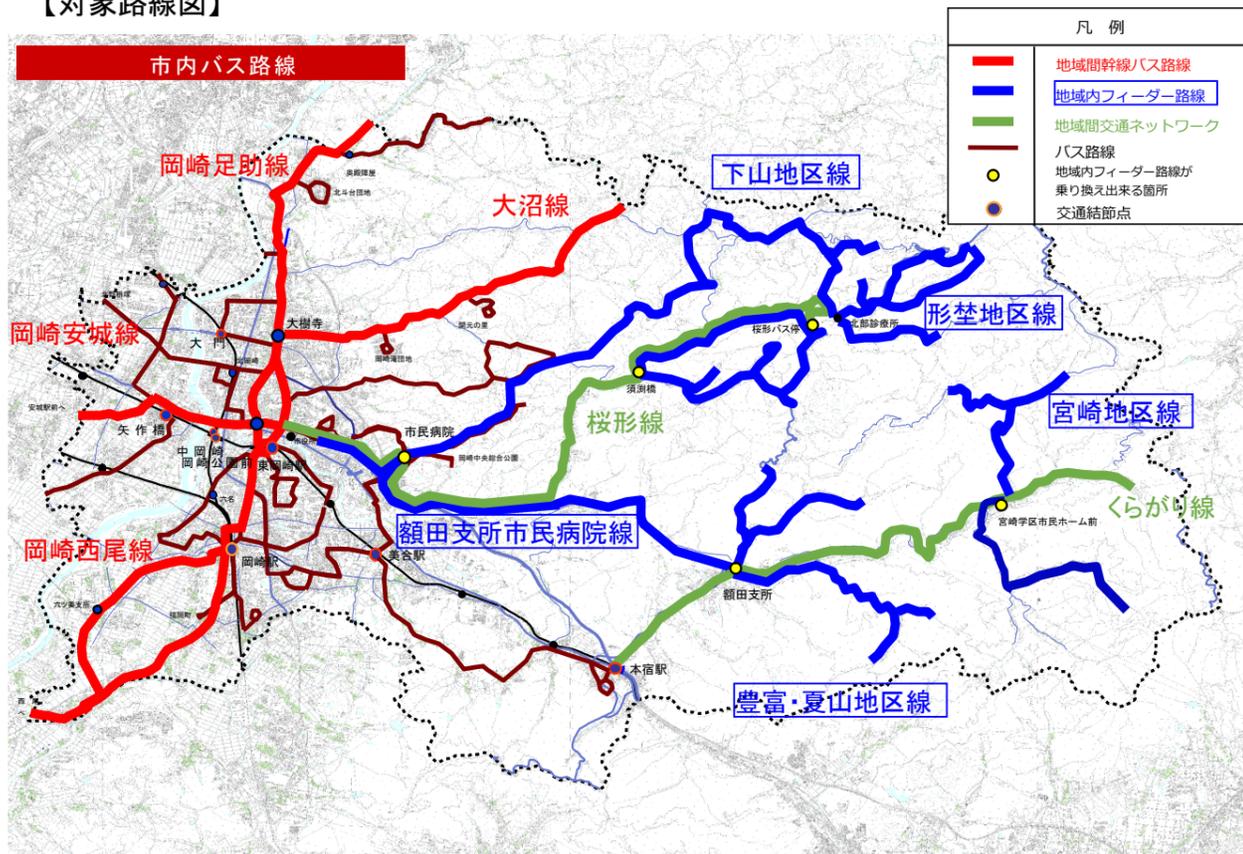
この事業支援には、幹線バス等の地域間交通ネットワークの支援と、当該幹線と接続、または、山村振興法に基づき指定された振興山村（額田地域全域）を沿線に含む地域内のバス交通・デマンド交通の運行についての支援（地域内フィーダー系統補助）があり、本市が策定するのは地域内フィーダー系統にかかる確保維持改善計画である。

2. 対象路線及び補助対象事業

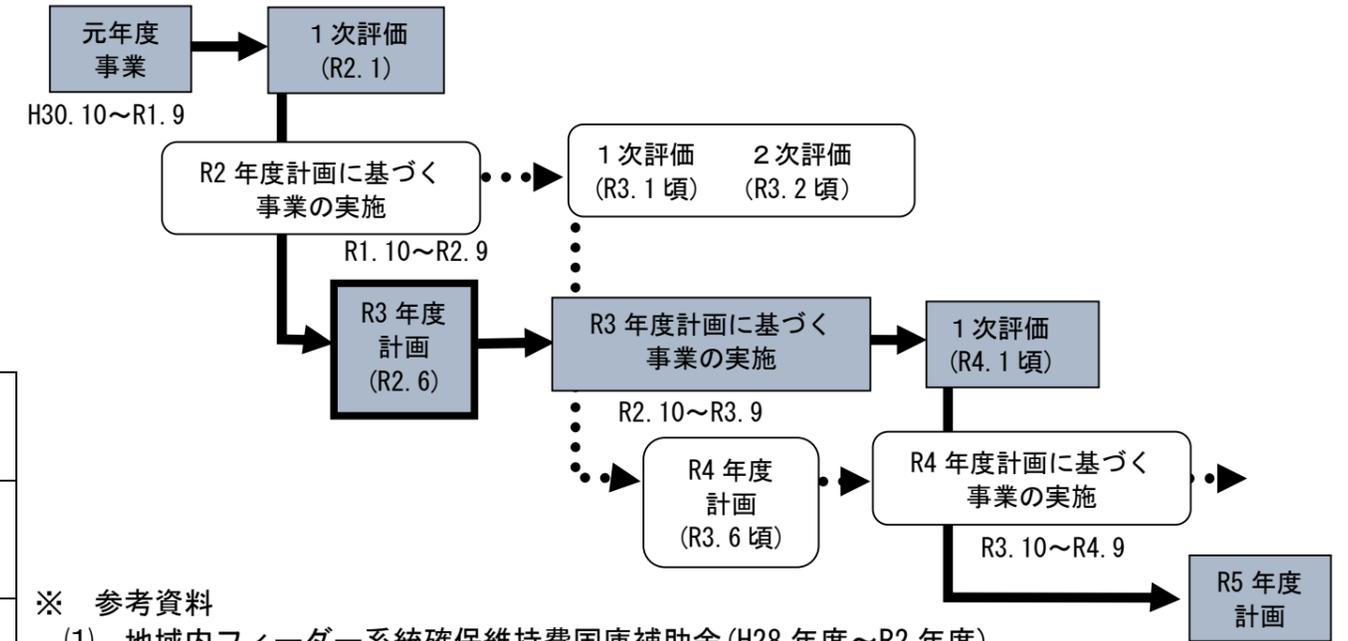
地域公共交通確保維持事業の区分	補助対象事業	補助対象路線	生活交通確保維持改善計画の策定主体
地域間幹線系統確保維持事業	地域をまたがる幹線バス交通ネットワークの確保維持事業	大沼線、岡崎西尾線、岡崎足助線、岡崎安城線	県バス対策協議会
地域内フィーダー系統確保維持事業	山村振興法に基づき指定された振興山村（額田地域全域）を沿線に含む地域間交通ネットワークと接続する地域内交通の確保維持事業	額田支所市民病院線、下山地区線、形埜地区線、宮崎地区線、豊富・夏山地区線	岡崎市（岡崎市交通政策会議にて協議）

※「桜形線」及び「くらがり線」は、山村振興法に基づき指定された振興山村を沿線に含む地域間交通ネットワークである。

【対象路線図】



3. 地域内フィーダー系統確保維持事業の流れ



※ 参考資料

(1) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 (H28年度～R2年度)

- ・令和元年度まで申請上限額の交付額となっている
- ・国庫補助金の申請上限額が減少傾向にあったが、前年度は増加した。

路線	年度	(千円)			
		H28年度 交付額	H29年度 交付額	H30年度 交付額	R1 (H31) 年度 交付額
額田支所市民病院線		2,085	2,209	2,136	3,857
下山地区線		1,334	1,325	1,426	2,836
形埜地区線		617	450	0	0
宮崎地区線		490	173	0	0
豊富・夏山地区線		158	91	69	123
合計		4,684	4,248	3,631	6,816
申請上限額		4,684	4,248	3,631	6,816

(2) 令和元年度事業の1次評価（自己評価）における課題及び対応方針

課題

- ・額田地域以外の住民のほか、高齢者や高校生の利用を増やす必要がある。
- ・効果的な利用促進策は継続して実行し、新たな取組も行っていく必要がある。
- ・地域間交通の維持確保策も重要課題とし並行して対応する必要がある。
- ・利用者数が減少傾向にある中山間部において効率的で効果的な路線再編と利用促進の推進が必要。
- ・近隣市町との連携による広域的な公共交通ネットワークの構築が必要。

対応方針

- ・地域住民とともに高齢化を迎える年代や高校生の通学利用者に対する利用促進を図る。
- ・地域住民の主体的な取組に対して、地域住民や事業者等と連携して地域ニーズにあった利便性の高い移動手段の検討をおこない、高齢者等の移動手段の確保を目指す。
- ・フィーダー路線や地域間交通について、地域のニーズにあった新たな運行形態や路線の役割の整理等、効率的で効果的な路線を地域住民と一緒に検討するとともに、利用促進の推進に取り組んでいく。
- ・近隣市との連携を強化し、公共交通ネットワークの相互連携、機能強化等の研究を進める。

1 地域間幹線系統について

(1) 概要

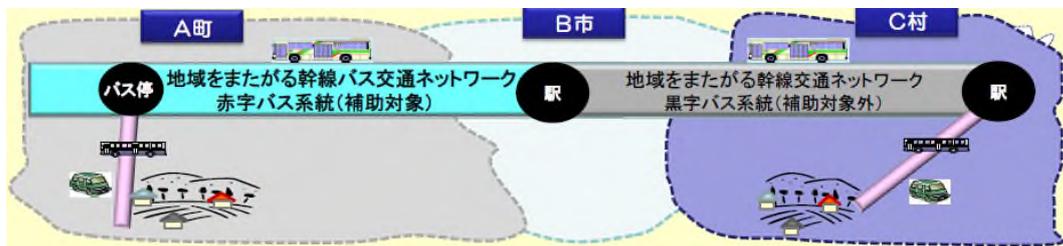
地域間幹線系統とは、複数の市町にまたがって走る広域的なバス路線のうち、運送収入（運賃）のみでは事業採算が確保できない系統で、以下の基準を満たすものを指す。

「地域間幹線系統確保維持計画」を策定し、国の承認を得ることにより、国庫補助の対象として認められる。同計画は、愛知県バス対策協議会で協議し、国へ提出する。

なお、令和2年度（令和元年10月～令和2年9月）は、11運行事業者・61系統が地域間幹線系統として位置付けられている。

<基準>

- ・運行回数が、1日3回（3往復）以上の系統であること。
- ・輸送量（平均乗車密度×運行回数）が原則15～150人の系統であること。
- ・県庁所在地、広域行政圏の中心都市等にアクセスする系統であること。



(2) 地域間幹線系統確保維持計画の主な内容

- ・定量的な目標・効果
- ・運行系統の概要及び運行予定者
- ・費用の総額、負担者及びその負担額
- ・生産性を向上させる取組 など

(3) 岡崎市に関する地域間幹線系統の概要

別紙のとおり

※現在作成中の令和3年度（令和2年10月～令和3年9月）計画より抜粋

2 関連する県の取組

○MaaS等新たなモビリティサービスの普及促進【新規】

- ・愛知県ITS推進協議会内に設置した「MaaS推進会議」において、新たなモビリティサービスの普及促進に向けた課題や対応策を検討。

○GTFSDデータ整備支援【新規】

- ・市町村やバス事業者のデータ整備を支援。（事業内容は検討中）

○対流・交流促進による公共交通活性化事業【継続】

- ・平成30・令和元年度は、観光を始めとする地域間の対流・交流促進の観点から、公共交通を利用して地域資源を周遊するプランを創出。

（平成30年度：知多地域、令和元年度：東三河地域）

- ・令和2年度は、次期あいち公共交通ビジョン策定に向けた基礎調査等を実施する予定。

○複数市町村等の連携した取組の促進【継続】

- ・市町村等が実施する、広域連携または他のモデルとなる先導的な取組に対し、助成。
- ・市町村圏域を越えた公共交通に係る広域的な連携組織への参画。

岡崎市に関する地域間幹線系統 概要①

運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	中心市町村	R3年度目標利用者数(人)	利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
名鉄バス(株)	大沼	岡崎市中心部と豊田市南東部を結ぶ路線であり、沿線地域の住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と豊田市下山エリアの広域路線として必要不可欠である。	岡崎市 豊田市	岡崎市	62,500	<ul style="list-style-type: none"> ・路線マップ・時刻表の配布、広報誌やホームページ等を活用したPR ・イベントへの出展(バスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる) ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・路線図の活用による系統ナンバリングの周知 ・高齢者向けフリーパスのPR 	運行事業者 沿線市町村	東岡崎駅と岡崎市北部地域、豊田市南東部を結ぶ路線が維持され、沿線住民の日常生活の移動手段が確保される。	調整中
名鉄バス(株)	岡崎・足助	隣接する市域を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	岡崎市 豊田市	岡崎市	154,700	<ul style="list-style-type: none"> ・観光用企画商品の造成による観光旅客の誘致 ・路線マップ・時刻表の配布、広報誌やホームページ等を活用したPR ・イベントへの出展(バスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる) ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・路線図の活用による系統ナンバリングの周知 ・高齢者向けフリーパスのPR 	運行事業者 沿線市町村	隣接する市域を結ぶ重要な幹線系統が維持され、地域住民の日常生活における移動手段が確保される。山間地域である足助地区から近隣都市である岡崎市への移動を可能にし、地域の活性化に寄与する。	
名鉄バス(株)	岡崎・安城	隣接する地域を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	岡崎市 安城市	岡崎市	48,400	<ul style="list-style-type: none"> ・路線マップ・時刻表の配布、広報誌やホームページ等を活用したPR ・イベントへの出展(バスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる) ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・路線図の活用による系統ナンバリングの周知 ・高齢者向けフリーパスのPR 	運行事業者 沿線市町村	名鉄東岡崎駅とJR安城駅間を結ぶ路線が維持され、地域住民の日常生活における移動手段が確保される。	
名鉄東部交通(株)	岡崎・西尾	岡崎市中心部と西尾市中心部を結ぶ路線であり、沿線住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と西尾市の市域間の広域的な移動手段を確保するため必要不可欠である。	岡崎市 西尾市	岡崎市	181,100	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の情報提供(マップ作製・配布) ・まちづくりとの連携による地域住民の利便性の向上 	運行事業者 沿線市町村	岡崎市中心部と西尾市中心部を結ぶ路線が維持され、沿線住民の日常生活における移動手段が確保される。	
名鉄東部交通(株)	岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎市中心部と西尾市中心部を結ぶ路線であり、沿線住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と西尾市の市域間の広域的な移動手段を確保するため必要不可欠である。	岡崎市 西尾市	岡崎市	67,900	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の情報提供(マップ作製・配布) ・まちづくりとの連携による地域住民の利便性の向上 	運行事業者 沿線市町村	岡崎市中心部と西尾市中心部を結ぶ路線が維持され、沿線住民の日常生活における移動手段が確保される。	
東伸運輸(株)	あんくるバス(東部線)	交通結節点であるJR安城駅と隣接する岡崎市の名鉄宇頭駅地域及び名鉄宇頭駅を結ぶ広域的路線であり、安城市と岡崎市との連結路線として、この地域における生活行動の広域化のため必要な路線である。	岡崎市 安城市	安城市	32,000	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の情報提供(時刻表・マップ作成・配布) ・高齢者・障がい者無料制度等の継続 ・地域と協働による利用促進キャンペーン等各種活動 	沿線市町村	通勤通学や通院への足が確保されるなど、岡崎市、安城市地域住民の日常生活、通院に必要な移動手段が確保される。	

岡崎市に関する地域間幹線系統の概要② - 生産性向上の取組 -

系統名	生産性向上の取組み	実施主体	実施時期
大沼	高齢者向けフリーパス(ゴールドバス・シルバーバス)のPR	名鉄バス(株)	随時
	公共交通マップ・時刻表配布による情報提供、周知	岡崎市 豊田市	随時
	市内イベントにて乗り方教室等の公共交通利用啓発事業の実施	岡崎市 名鉄バス(株)	随時
	地域や関連市と連携し、地域住民のニーズにあった利用しやすい路線を目指し、関係者と協議	岡崎市 豊田市 名鉄バス(株)	随時
岡崎・足助	高齢者向けフリーパス(ゴールドバス・シルバーバス)のPR	名鉄バス(株)	随時
	地域や関連市と連携し、地域住民のニーズにあった利用しやすい路線を目指し、関係者と協議	岡崎市 豊田市 名鉄バス(株)	随時
	公共交通マップの作製・配布による情報提供	岡崎市	随時
	市内イベントにて乗り方教室等の公共交通利用啓発事業の実施	岡崎市	随時
	運営主体と連携し、イベント等でのPRの実施	豊田市	通年
	豊田市バスマップ、バスガイドブック及びみちなびとよたへの路線情報掲載	豊田市	通年 (バスマップ及びバスガイドブックの更新令和3年4月)
岡崎・安城	公共交通マップ・時刻表配布による情報提供、周知	岡崎市 安城市	通年
	地域住民のニーズにあった利用しやすい路線を目指した協議	岡崎市 安城市 名鉄バス(株)	適時
	コミュニティバス時刻表、バスマップ、ガイドマップ等への掲載等	安城市	通年
	市内イベントにて乗り方教室等の公共交通利用啓発事業の実施	岡崎市	随時
岡崎・西尾	公共交通マップの作成・配布	岡崎市 西尾市	随時
	JR岡崎駅南部に令和2年4月に開業した総合病院分院への乗り入れに関して、需要を満たしかつ需要を喚起する適切な運行計画への修正を検討・実施	名鉄東部交通(株)	随時
	地域、交通事業者、市が連携し、地域住民のニーズにあった利用しやすい路線を目指し、関係者と協議	岡崎市 名鉄東部交通(株)	随時
	市内イベントにて乗り方教室等の公共交通利用啓発事業の実施	岡崎市	随時
	沿線の中学生や高校生を対象にバスを利用した通学方法の案内	西尾市	随時
	GTFSSへの対応	西尾市	随時

岡崎市に関する地域間幹線系統の概要② - 生産性向上の取組 -

系統名	生産性向上の取組み	実施主体	実施時期
岡崎・西尾 (西尾市民病院)	公共交通マップの作成・配布	岡崎市 西尾市	随時
	JR岡崎駅南部に令和2年4月に開業した総合病院分院への乗り入れに関して、需要を満たしかつ需要を喚起する適切な運行計画への修正を検討・実施	名鉄東部交通(株)	随時
	地域、交通事業者、市が連携し、地域住民のニーズにあった利用しやすい路線を目指し、関係者と協議	岡崎市 名鉄東部交通(株)	随時
	市内イベントにて乗り方教室等の公共交通利用啓発事業の実施	岡崎市	随時
	沿線の中学生や高校生を対象にバスを利用した通学方法の案内	西尾市	随時
	GTFSへの対応	西尾市	随時
あんくるバス (東部線)	利用状況、運行状況について市と運行事業者の情報共有を密接に図り、計画づくりに継続的に反映	安城市 名鉄バス(株)	随時
	イベント時等にバス利用促進を呼びかける取組みを実施	安城市	随時
	バスロケーションシステムを継続運用し、利便性の確保	安城市	通年
	地域や関連市と連携し、地域住民のニーズにあった利用しやすい路線を目指し、関係者と協議	岡崎市 安城市	随時